

かはづ通信

2023年12月17日

vol. 149

地球沸騰
今年も暖冬？号

発行 北川かつばの会
<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

かつば通信は次号で150号の節目を迎えます



アキアカネ

報告 北山小土曜講座 トンボ捕りとヤゴいかなだ作り

10月7日、北川かつばの会が支援して、参加者総勢20名余りで北山小土曜講座「トンボとりとヤゴいかなだづくり」が北山公園で行われました。

この時期にたくさん現れるはずのアカトンボが、著しい温暖化のせいか最近では安定的に見られない傾向があり、ちゃんとアカトンボたちがいるのか少し心配でしたが、この日の北山公園には多くのアカトンボが見られて安心しました。ただ、北山公園では数種類のアカトンボを見かけることがありますが、この日のアカトンボはほぼアキアカネのみで、他にはひたすら空を飛んでいるウスバキトンボが見られただけでした。

子どもたちは虫捕りの経験がほとんどないようでしたが、アカトンボたちはちょうど捕まえやすい枝先に多く止まってくれたので、みんな段々とトンボ捕りのコツをつかみ、終わる頃には（次ページへ）

トンボ捕りの達人になっていました。お天気にも恵まれ、子どもたちと楽しく過ごすことができました。(ビー永島)

ヤゴいかだ作り

北山公園で子ども達がトンボを捕っている頃、学校のプールサイドではお父さん2名+かっぱ2名の計4名でヤゴいかだ作りが行われました。

トンボは水辺に産卵をするわけですが、学校のプールも多くのトンボが産卵場所として利用します。トンボの種類により水面中に卵を産み落とす



ものと、水辺の植物(主に茎)に産卵するものがあり、「ヤゴいかだ」は後者のためのものです。いかだの上に草やワラを置き、産卵場所を用意するものです。コロナ禍でこのヤゴいかだは3年間設置されず、その間にいかだは処分されてしまいました。今回、新たに畳2枚分を竹の棒を組み合わせ、ネットを張り急遽製作しました(写真上)。



トンボ捕りから帰った子ども達に校内の雑草など集めてもらい、いかだの上に草を敷き詰めてもらいました。学校で保管していたワラも利用しました。(写真中)

このいかだを進水式をしてプールに浮かべ浮島状態のものを作りました(写真下)。

来年の5月下旬、プールの水を抜くまでトンボのヤゴが成長していることをみんなで祈りました。

報告 北山小の総合的学習を支援

11月21日（火）、北山小4年生の総合的学習「北川の水について調べよう」の授業を受け持ちました。授業はクラスごとに1時限ずつで、講義形式で「きれいな川とは」、「川の水はどこからくる?」、「川の水はどうしてよごれるのか?」、「川のよごれぐあいはいどのように調べる?」、「どうすればきれいな北川を守ることができる?」について対話形式で学習しました。



当日は、北川の水と丸池の水について透視度の測定（写真）も体験してもらいましたが、児童はみな興味深そうに測定の体験をしていました。これらの体験を基に、子どもたちの力で北川の水環境の保全につながっていくことができればと思います。

夏まつりの様子がYouTubeで公開されました！

今年の北山わんぱく夏まつりの様子が、東村山動画プロジェクトチャンネル内で公開されました。東村山動画プロジェクトは、東村山及び西武線沿線の素敵なヒト・コト・モノを世界に未来につなげる活動をしているグループで、「東村山動画プロジェクト」で検索すると、意欲的な動画を多く見ることができます。

<https://youtu.be/TGBVtZ8Vgvg?>（右のQRコードから）

北山わんぱく夏まつりの動画は、子どもたちのいきいきした様子がとても印象的で、プロならではの動画を楽しむことができます。



かっぱ通信150号達成

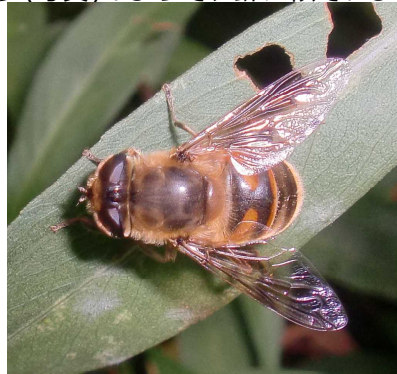
記念イベントの企画のアイデア募集

かっぱ通信は、来年3月に150号を発行する予定です。これを記念して150号は特別の編集を行うとともに、来春以降に150号達成記念イベントの実施を行いたいと考えています。100号達成時には、2014年1月にサンパルネで祝賀会を開催しましたが、今回は祝賀会にこだわらずに考えたいと思っています。皆様からのアイデアを募集します。

冬のアブ

家の庭先にあるビワの花は、ちょうど今が満開です。今頃花が咲いて、ビワの実が食べごろに実るのは大体6月ごろです。季節はもうすでに冬なのに、ビワは虫媒花です。何らかの虫が花に寄って来て受粉しないと実が出来ません。僕は毎年それが心配で、毎日のように花に虫が来ているか眺めています。晴れた日には、小さなハエのような虫が冬なのに沢山来ています。中にはミツバチかな？と思うような虫も来ています。面白い事に、曇りの日には全く何も来ていません。調べたところ、その虫たちは数種類の花アブの仲間ようです。ハエより少し小さな感じですよとホバリングしながら空中停止しているもの、見た目はまるでミツバチのようなもの、大体はこの2種類が大半のようです。

見た感じまるでミツバチのようなやつは、ナミハナアブ(写真)のようで、蜂に似ていますがハエ目ハナアブ科



で、ハエに近い仲間だそうです。幼虫は水中で生活をしていて、水中の腐植物を餌にします。見た目は蛆虫に長い尾付いているようなやつで、少しグロテスクです。越冬はやはりこの時期に見かけるだけあ

って、成虫のまま落ち葉の影などで冬を過ごすようです。どうやら蜂と違って針を持たない彼らは、蜂そっくりな模様で身を守っているそうで、それを擬態と言います。

人間にとってなんら危害を加えない上に、毎年おいしいビワの実が実る助をしてくれるハナアブの仲間たちを、あたたかく見守りましょう。(中谷)

報告 今年の外来生物捕獲結果

北川かっぱの会では、2013年4月より北山公園のしょうちゃん池や菖蒲田周辺で、在来生物の脅威となっている外来生物の捕獲を行っています。今年の捕獲実績は、ウシガエル(成体)8、ウシガエル(幼生)285、アメリカザリガニ601などとなりました(表参照)。この11年間の推移を見ると、北山公園界隈では、アカミミガメやクサガメの姿はほとんど見かけられなくなりましたが、ウシガエルは減少傾向にあるものの、依然として多くの姿が見られる状況が続いています。

年	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
アカミミガメ	9	11	4	2	5	3	0	1	2	0	0
クサガメ(再捕獲を含む)	13	10	8	1	5	2	0	1	0	1	0
ウシガエル(成体)	2	1	3	42	106	44	53	63	39	15	8
ウシガエル(幼生)	10	24	約550	192	86	282	1137	516	342	201	285
アメリカザリガニ	99	126	約550	約760	1127	354	784	779	1037	957	601

11月11日には外来生物慰霊祭を開催し、捕獲した外来生物の霊を慰めました。慰霊祭で改めて感じたことは、個々の外来生物が悪いのではなく、人間の勝手な所業により外来生物が放たれ、多くの在来生物が脅かされ、里山の生物多様性や景観に大きな悪影響を与えているということです。北川かっぱの会では、来年以降も在来生物の生息環境の改善と外来生物の捕獲に取り組んでいきますので、引き続き皆様方のご理解とご支援をお願いします。



▲アメリカザリガニ



▲慰霊祭

北山公園に来る夜のいきもの

北川かっぱの会では、北山公園の菖蒲田に9月下旬から11月上旬にかけて、トレイルカメラを設置しましたが、その結果、深夜の時間帯にタヌキ(写真左)、アライグマ(中)、ゴイサギ(右)の撮影をすることができました。いずれも菖蒲田に水が残っている時期のもので、深夜に水の中にいる生き物の捕獲に来たものと思われます。



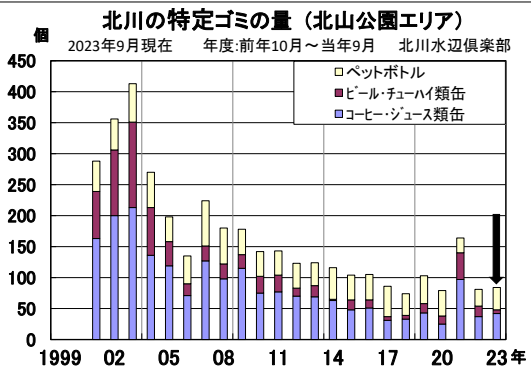
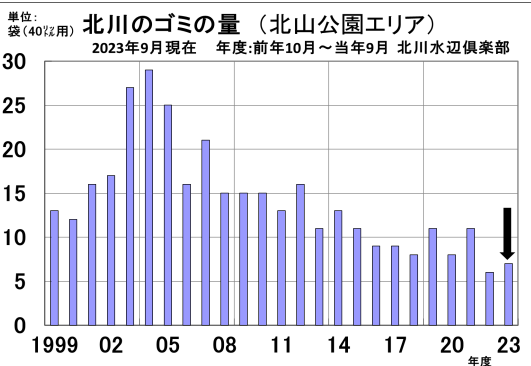
報告 今年のゴミ調査結果

北川かっぱの会では、毎月第2土曜日の午前中に「定例川そうじ」を実施しています（北山小前～西武園線鉄橋下；3月～12月）。川そうじが終了した時に収集したゴミの仕分けを行い、そのゴミの量の計測を行なっていますが、このほど2023年度の調査結果（毎年10月～9月）がまとまりました。ゴミの総量（可燃ゴミ＋不燃ゴミ）は平成16年度をピークに減少しているものの、昨年度と比べ今年度は微増でほぼ前年度並みでした（図参照）。また、ゴミの内、缶やペットボトルなど「特定ゴミ」の本数は、最も多かった平成15年度と比較し減少していますが、昨年度と比べ今年度は微増でほぼ前年度並みでした。さらに、ビンやワンカップなどについては、「危険ゴミ」として別途集計していますが、令和になって激増傾向にあり、今年度は13本にもなり憂慮すべき事態となっています。

北川かっぱの会では、子どもたちが安心して遊ぶことのできる、地域の住民が愛着をもつことのできるような北川の川づくりを目指しています。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

北川かっぱの会では、子どもたちが安心して遊ぶことのできる、地域の住民が愛着をもつことのできるような北川の川づくりを目指しています。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

北川かっぱの会では、子どもたちが安心して遊ぶことのできる、地域の住民が愛着をもつことのできるような北川の川づくりを目指しています。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



報告 魚道設置工事が進んでいます

西武園線ガード下の北川で魚道設置工事が進んでいます。12月14日現在、川の水をせき止め、川の水を迂回させるための管が右岸側に設置されています。川底の洗掘を防止するためのコンクリート板は既に撤去されました。



北川に設置される2本目の魚道は、北山公園善行橋下に2004年に設置されたものを改善した設計内容となっています。

12月18日以降、布製の型枠の設置とコンクリートの流し込み、流路への玉石と窪みの設置が行われる予定です。



2024年 1月～3月 活動スケジュール

〔ホ〕は ボランティア募集 の略、〔会〕は会員のみの略

性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつぱの会)
または直接会員にお知らせください

コロナウイルス感染防止のため、変更、中止となることがあります。
「かつぱブログ」等で最新の情報の入手をお願いいたします。

定例川そうじ 〔ホ〕

3月以降の毎月第2土曜 9～11時

3/9 (土) 集合:北山小正門前

川端会議

2/10 (土) 10-12時; 市民センター。北山公園周辺の環境整備について、市、市民、市民団体の話合いの場。誰でも参加可能です。

北山小学校土曜講座 〔ホ〕

野鳥観察会 (北山公園と八国山)

1/27 (土) 10-12時; 北山公園あずまや集合 (荒天中止)

かつぱ定例会

1/27 (土) 16-17時半 サンパルネ3

階インソール。2024年に重点的に取り組むべき課題などについて検討
同日17時半～新年会 (サンパルネ3階インソール集合)

2/24 (土) 15-16時半; サンパルネ3階インソール。2024年度活動方針案、4月頃までの活動計画の詳細について検討。

かつぱ総会

3/30 (土) 15:40～18:00 開催予定

ご寄付に深謝!

10月と11月の北山いきものクラブの場で多くの方から寄付していただき、ありがとうございました。

会費納入のお願い

今回、今年の会費について未納の方には振込用紙を同封させていただきましたので、最低限の活動を行なっていくためにも、会費(一般会員;年間3000円)のお振込をお願いいたします(既に振込済の方にも振込用紙を送付している可能性があります。悪しからずご了解ください)。

「支援会員(主にカンパで支援していただける方が対象で、2年間で2000円(学生は1000円)」の区分もあります。振込用紙の該当欄に記入をお願いするとともに、これまで一般会員だった方々には、引き続き一般会員の区分で継続していただけますと幸いです。なお、りそな銀行あて送金される場合には、shot-1205@kjc.biglobe.ne.jp 吉田あてご一報いただけますと幸いです。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価 1000 円 送料 82 円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価 200 円

『八国山・北山公園の生き物観察ガイド』A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園いきものマップ』

かっぱの会 20 周年記念発刊。北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員:年間 3000 円

支援会員:2年間で 2000 円

学生は2年間で 1000 円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店

(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記 寒いはずなのに昨日12/16の東京の最高気温は21℃とか。25℃超えの夏日を記録したところもあるという。地球沸騰化がホントに現実になってきた。どうするこのツケ。(遊星菌車)



●発行:北川かっぱの会

連絡アドレス CZT12221@nifty.ne.jp